ロシアによるウクライナ侵略の状況

（2024年9月13日時点）

➢ **ウクライナ軍**が**露西部クルスク州への越境攻撃を実施**する一方、**露軍**は、同攻撃に対応しつつも、**ウクライナ東部への攻勢**及び**ウクライナ全土に対するミサイル・無人機攻撃を継続**している模様

戦闘による人的被害・物的損耗の状況
露軍：**死者約12万人、負傷者約18万人**（NYT23年8月18日）
：**死者約18万人**（ゼレンスキー大統領24年2月25日）
：**死傷者50万人以上**（英国防省24年5月31日）
「ウ」軍：**死者約7万人、負傷者約12万人**（NYT23年8月18日）
：**死者3.1万人**（ゼレンスキー大統領24年2月25日）
「ウ」市民：**死者10,000人以上、負傷者1万8,500人以上**（UN23年12月4日）

- 「ウ」無人システム部隊司令官は、**「ウ」軍のFPVドローン使用数**が、本年6月と比較して、8月は**25%増加**したとし、無人機の発展に無休で取り組み続けていると表明（9月6日）
- 米国防省は、**イランが露に対して「Fath-360」短距離弾道ミサイルを供与**し、数週間の間に「ウ」に対して使用すると評価していると発表。英メディアは、**200発以上の同ミサイルが露に到着**したと報道。他方、イラン外務省報道官は、米国の発表について否定（9月9日）
- 英国防省は、「ウ」の**防空能力**を強化するために、**軽多目的ミサイル（LMM）システム×650発**を「ウ」に提供するとし、**第1弾を本年末までに引き渡す**と発表（9月10日）

- ゼレンスキー大統領は、「ウ」が攻勢を継続する**クルスク**方面において、**露が反攻を開始した**としつつも、「ウ」の計画通りに進んでいると発言（9月11日）
- 露国防省は、5日にドネツク州**ザヴィトネ村**、6日に同州**ジュラウカ村**、7日に同州**カリノヴェ村**、8日に同州**ノヴォフロディウカ村**、9日に同州**メムリク村**、10日に同州**クラスノホリウカ村**、**フリホリウカ村**、**ハリツィニウカ村**、**ヴォジャネ村**を解放したと発表

- 露ヴォロネジ州知事は、**無人機**により火災が発生し、爆発物に引火したと発表。「ウ」偽情報対策センター所長は、**ヴォロネジ州ソルダツコエ村の弾薬庫を攻撃**し、**北朝鮮製ミサイル**を破壊した旨主張（9月7日）
- 露国防省は、**ブリャンスク州**（70機）、**モスクワ近郊**（20機）、**クルスク州**（14機）、**トゥーラ州**（13機）、**ベルゴロド州**（8機）、**カルーガ州**（7機）、**ヴォロネジ州**（5機）、**リペツク州**（4機）、**オリョール州**（1機）の**9地域**で**計144機の無人機**を撃墜したと発表。欧州メディアが、モスクワでは1名が死亡し、**無人機攻撃による**
モスクワでの初の死者となったと報じたほか、露メディアもモスクワ近郊の4空港のうち3空港が一時閉鎖された旨報道（9月10日）

主要都市（下線は州都）
露軍による攻撃が報じられた主な地点（接触線以外）
露軍が占領した地点
侵略開始後に露軍が占領し保持している地域
ウクライナ軍が占領した地域

国土地理院標準地図を加工

資料源：ウクライナ政府機関ウェブサイト、ロシア大統領府ウェブサイト、ISW等